

新小山市市民病院ニュースレター

Shin-yama City Hospital News letter

Vol.53



目次 **1 副院長挨拶**

2 新館建設事業

3 医師紹介

4 医師紹介

5 研修医紹介

6 お知らせ

手術器械の進歩



副院長・整形外科主任部長 東 高弘

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。整形外科を担当している東（ひがし）です。今回は整形外科の手術器械の進歩について少しお話ししたいと思います。

当院では、2年前から、MAKO という人工関節置換用のロボットアームを使用しています。購入以前は、高額な機器であり、島田先生をはじめ皆さんにご心配をおかけしました。導入後、2年を経過して順調に軌道に乗り始め、現在では導入前の約2倍に人工膝関節、人工股関節の手術を行うことができるようになりました。

昔は、人工関節の手術は職人技の手術であり、若手の先生には敷居の高い手術でした。それが今では、指導医の先生の前、自治医大から派遣の若手の先生にも、自信を持ってできる手術となりました。高い精度で骨切りのラインと設置位置を把握できるので、設置不良や脱臼などのリスクが減り、慣れてくると時間短縮にもつながりました。現在では、日本中の多くの施設で取り入れられており、今後ますます導入する施設が増えてくると思います。

脊椎に関しても、同じ2年前から、脊椎のスクリー挿入に Navigation を導入しました。こちらも大変優れもので脊椎が変形している症例や危険な頸椎の手術などでも、安全に挿入することが可能になりました。

医療技術は日々進化してきています。当院では、来年からダビンチの導入も決まっています。10年前では、想像できないスピードで当院の医療技術は進歩しています。IT や AI をうまく利用して、効率的に安全に医療を行う時代に突入しています。高額の医療機器が多いですが、少ない人員でいかに効率的に手術などを行うかは、これからの病院の生き残りにも不可欠な存在です。

イーロンマスクの話では、10年後にはベテランの外科医が行っていた手術も、ロボットにとって変わると言われています。果たして本当にそんな時代が来るかは、甚だ疑問ですが、現状の自分たちの手術を考えると、可能性は十分にあるのかもしれません。

当科では、脊椎・人工関節・外傷の3本柱をメインに地域の中核となるように今後ますます研鑽を積んでまいりたいと思いますので、地域関連の先生方におきましては今後ともご協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

5人体制として、人員も増加し、4月からは肩・肘の専門家の笹沼先生も加わり、ますますパワーアップした整形外科の成長を暖かくご支援ください。



大地震発生を想定した防災訓練を実施しました

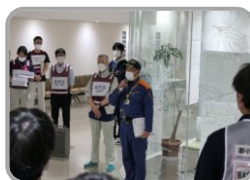
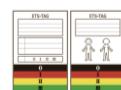
3月29日（日）、大地震発生を想定した防災訓練を実施しました。

本訓練では、多数傷病者受入れを想定し、トリアージおよび医療資源配分の実践的訓練を行いました。

特に、傷病者情報を現場指揮所へ正確に報告し、集約・共有する体制の確認に重点を置きました。

当日は、小山地区医師会の先生方にも多数ご来院いただき、訓練の様子をご視察いただくとともに、終了後には貴重なご意見を賜りました。

今後も、地域の医療機関との連携を一層強化し、災害医療体制の向上に努めてまいります。



新館建設事業に着手しています！④

工事中



令和8年2月中旬に工事の安全祈願祭を行い、建物本工事に着工しました。地盤改良工事～基礎工事を進め、6月には建物の骨組みが建ち始める予定です。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、最善の配慮で工事を進めて参りますのでご理解ご協力をお願いします。

topix

- 別館の名称が『新館』に決定しました。
- 患者第一駐車場に満車・空車の表示システムを設置しました。患者第一駐車場が満車の際は病院東側の臨時駐車場等をご利用ください。

安全祈願祭の様子



完成イメージ



基礎工事状況





-----新任医師紹介（4 月入職）（氏名、診療科、ひとこと）

こいぬま こうじ
鯉沼 広治

外科部長

令和 8 年 4 月から外科に赴任しました 鯉沼 広治 と申します。



自治医科大学卒業後、使命である僻地勤務を経て、同大学消化器一般外科に入局しました。

これまで消化器外科、特に大腸の腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術を専門に診療して参りましたので、その経験を活かしこの地域の医療に少しでも貢献できればと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

もりした ゆうや
森下 悠也

形成外科部長

令和 8 年 4 月から形成外科に赴任しました 森下 悠也 と申します。



金沢大学を卒業後、東大の形成外科に入局し、2019 年から自治医大形成外科医局に所属しております。自治医大では、頭蓋顎顔面系の疾患を主に取り扱わせていただき、2024 年には顎変形症と睡眠時無呼吸症候群の顎骨手術の勉強で台湾に留学させていただきました。頭蓋縫合早期癒合症の頭蓋形成術、先天性・後天性の顔面骨・顎骨手術、鼻の手術、口唇口蓋裂、顔面神経麻痺手術といった顔面の手術を好んでいますが、赤ん坊から御高齢の方まで、頭の方から足の先まで、形成外科・美容外科の疾患はほぼ全て取り扱っています。「こんなもので受診していいのだろうか」とお悩みの患者さんがいらっしやいましたら、紹介いただければ幸いです。

ささぬま ひでゆき
笹沼 秀幸

整形外科部長

令和 8 年 4 月から整形外科に赴任しました 笹沼 秀幸 と申します。



自治医大を卒業後、同大整形外科医局に入職し、関節疾患やスポーツ整形、人工関節・関節鏡手術について研究・臨床の研鑽を積んで参りました。

これまで経験してきた知識・技術をもとに、特に関節外科治療について小山地区医師会の先生方と連携させていただけますと幸いです。

微力ではございますが、県南地域医療に貢献できるように尽力して参ります。

ながい ひろき
長井 洋樹

消化器内科副部長

令和 8 年 4 月より消化器内科に赴任しました。長井 洋樹 と申します。



秋田県で花火が有名な大仙市大曲出身です。2011 年に自治医科大学を卒業後に、卒後 9 年目まで主に豪雪地帯でもある秋田県北の医療過疎地域（上小阿仁村、鷹巣、大館・比内）で、内科全般・訪問診療を行って参りました。義務年限終了後、家族の希望もあり、自治医科大学消化器肝臓内科に入局し、主に胆膵グループ先生ご指導の下、研鑽を積ませていただきました。

元来自分としては地域医療に貢献したい思いがあります。4 年前に芳賀赤十字病院 消化器内科に派遣となり、年間 ERCP 約 360 件、EUS 80 件を担いながら地域医療に貢献して参りました。

小山のある県南地域は、学生の頃から縁があり、第二の故郷と思っています。今回も医局人事での派遣ですが、働けるのを楽しみにしていました。

消化器疾患について、小山地区医師会の先生方と連携させていただけますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

まつばら しほ
松原 史歩

脳神経内科副部長

令和 8 年 4 月から脳神経内科に赴任いたしました 松原 史歩 と申します。



宮崎大学を卒業後、東北大学神経内科医局に入職し、特に特発性正常圧水頭症について研究・臨床の研鑽を積んで参りました。

県南地域医療の一端を担わせていただけることに感謝し、日々研鑽に努めてまいります。何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

はしもと ゆうすけ

橋本 佑介**小児科副部長**

令和 8 年 4 月から小児科に赴任しました 橋本 佑介 と申します。

小児科医として、地域のお子さんたちの健やかな成長を支えるとともに、ご家族の不安や悩みにも丁寧に寄り添う診療を心がけてまいりたいと考えております。地域医療においては、医療機関同士の連携が何より大切であると感じております。

諸先生方にご指導を賜りながら、微力ではございますが、地域医療の一端を担えるよう努めてまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



たなか やすたか

田中 保平**外科副部長**

令和 8 年 4 月から外科に赴任しました 田中 保平 と申します。

自治医科大学救急医学講座に入職後、腹部救急疾患、外傷を中心に幅広く診療してきました。約 6 年前にも新小山市市民病院外科で勤務しておりました。

その頃と変わったこともあるかと思いますが、小山地区医師会の先生方と連携させていただき、県南地域医療に貢献できるよう尽力して参ります。



なかにし みさ

中西 美沙**麻酔科副部長**

このたびご縁をいただき、勤務させていただくことになりました 中西 美沙 と申します。

これまで周術期管理を中心に、診療に携わってまいりました。安全を最優先に、安心して手術を受けていただける環境づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



ばん まいこ

伴 妹子**麻酔科副部長**

令和 8 年 4 月から麻酔科に赴任いたしました、伴 妹子と申します。

獨協医科大学卒業、同大学病院麻酔科入職後、主に手術麻酔を専門とし、出産育児を経験しながら、結城病院で、たった一人で年間 700 件の手術麻酔をこなしてまいりました。

そこで培った経験を、次は小山というステージで役立てたいと思っています。何卒宜しくお願い致します。



つばやま しゅん

坪山 峻**脳神経内科**

令和 8 年 4 月から脳神経内科に赴任しました 坪山 峻 と申します。

獨協医科大学を卒業後、脳神経内科に入職し、県内の病院で診療に携わってまいりました。微力ではありますが、これまで経験してきた知識、技術をもとに、脳神経内科領域の治療に関して、小山地区医師会の先生方と連携させていただけますと幸いです。至らぬところも多々あるとは存じますが、県南地域医療に貢献できるよう尽力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



さかい たかふみ

酒井 貴史**呼吸器内科**

令和 8 年 4 月から呼吸器内科に赴任しました 酒井 貴史 と申します。

福島県立医科大学を卒業後、白河市の病院で初期研修を行い、自治医科大学呼吸器内科へ入局いたしました。若輩者ではございますが、小山地区医師会の先生方と連携させていただきまますと幸甚でございます。

微力ではございますが、県南地域医療に貢献できるように尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



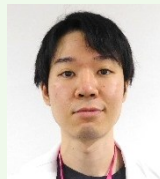
おぶち たけひろ

小淵 雄大**循環器内科**

令和 8 年 4 月から循環器内科に赴任しました 小淵 雄大 と申します。

自治医科大学附属病院で初期研修を行い、同院循環器内科に入局しました。虚血性心疾患、心不全、不整脈など多岐にわたる循環器疾患を診てまいりました。

これまでの経験をもとに、虚血性心疾患のカテーテル治療や心不全治療などで、県南地域医療に貢献できるように尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



しもだ

霜田 かれん**小児科**

令和 8 年 4 月から小児科に赴任しました 霜田 かれん と申します。

出身は群馬県で、獨協医科大学入学を契機に栃木に転居して 11 年目になります。卒業後は自治医科大学で初期研修を行い、小児科に入局いたしました。小児科医 4 年目として微力ではありますが、県南地域医療に貢献できますよう尽力して参ります。小山地区医師会の先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、何卒ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



せきやま ゆうた

関山 雄太 小児科

令和 8 年 4 月から小児科に赴任しました 関山 雄太 と申します。

獨協医科大学を卒業し、自治医科大学での研修・勤務を経て、この度故郷である小山市に戻ってまいりました。慣れ親しんだこの土地で、子どもたちの健やかな成長をお手伝いできることに大きな喜びを感じています。病気の治療だけでなく、日々の不安にも寄り添える診療を心がけます。地域の皆様に信頼していただけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ふじはら しゅうと
藤原 柊都**外科**

令和 8 年 4 月より外科に赴任しました 藤原 柊都 と申します。

山形大学卒業後、自治医科大学附属病院に入職し、2 年間の初期研修を行いました。その後、自治医科大学小児外科に入局し、2 年間小児外科診療全般に携わってました。

成人の外科で研鑽を積み、外科医として成長していきたいと思っております。皆様のお役に立てるよう尽力いたす所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

きむら ゆうや
木村 優彌**整形外科**

本年より整形外科に赴任した 木村 優彌 と申します。

大学卒業・初期研修の後に自治医科大学整形外科に入局し、関連病院で勤務しておりました。現在は関節外科の中でも、膝関節、股関節の痛みが生じる疾患の治療を専門としています。

現在当院では、ロボティックアーム支援下の人工関節置換術を行っており、従来の手術と比較して、更なる治療成績の向上が見込まれます。ご希望の患者様がいらっしゃいましたら、是非御紹介いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

よこた けんすけ
横田 健介**整形外科**

令和 8 年 4 月から整形外科に赴任しました 横田 健介 と申します。

山形大学卒業後、自治医科大学整形外科医局に入局し、外傷や関節、脊椎疾患を中心に診療・研鑽を積んで参りました。

これまでに経験してきた知識・技術をもとに、特に整形外科領域の診療・治療について、小山地区医師会の先生方と連携させていただけますと幸いです。微力ではございますが、県南地域医療に貢献できるように尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

まえむら たくみ
前村 拓未**形成外科**

令和 8 年 4 月より形成外科に赴任しました 前村 拓未 と申します。

獨協医科大学卒業後、自治医科大学附属さいたま医療センターで初期研修を終えて、自治医科大学形成外科に入局しました。

まだまだ研鑽中の段階ではありますが、乳房再建、皮膚・皮下腫瘍、創傷外科の範囲などで広く貢献できたらと思っております。市中病院で勤務することは初めてですが、県南地域医療に貢献できるよう尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



----- 初期臨床研修医入職 -----



今年は 2 名の初期臨床研修医が入職しました。2 人とも朝早くから夜遅くまで研修に励んでいます。研修医室に戻ってくるとすぐに 2 人で電子カルテを見に行き、疑問に思ったことや分からないことをお互いに確認しあったり、図書室に行き本を借りて勉強している姿を見かけます。

医療・連携の会やポットラックなど、お会いする機会もあるかと思います。励みになりますので、どうぞ気軽に声をおかけください。2 年目研修医と同様に 1 年目研修医もよろしくお願いいたします。

ありさか かずま
有坂 和真

令和 8 年 4 月より、新小山市市民病院にて初期臨床研修医を務めます 有坂 和真 と申します。

秋田大学出身です。たくさんの方から吸収し、これからの 2 年間で方向性を見出したいと思っております。まだまだ右も左も分からぬ若輩者ですが、少しでも早く臨床の場にてお役に立てることを目指し精進する次第です。至らない点が多々あるかと存じますが、何事にも真摯に取り組んで参りたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さとう ひろき
佐藤 裕輝

令和 8 年 4 月より、新小山市市民病院に入職いたしました。初期臨床研修医 1 年目の 佐藤 裕輝 と申します。

出身は神奈川県で、福島県立医科大学を卒業しました。栃木県に住むのは初めてで、新しい環境にとっても期待が膨らんでいます。また、部活は剣道部に所属しておりました。希望診療科はまだ決めかねていますが、現時点では神経内科に興味があります。

まだ何もできない新人ではありますが、全力で研修に取り組み、少しでも小山市の医療に貢献できるよう尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

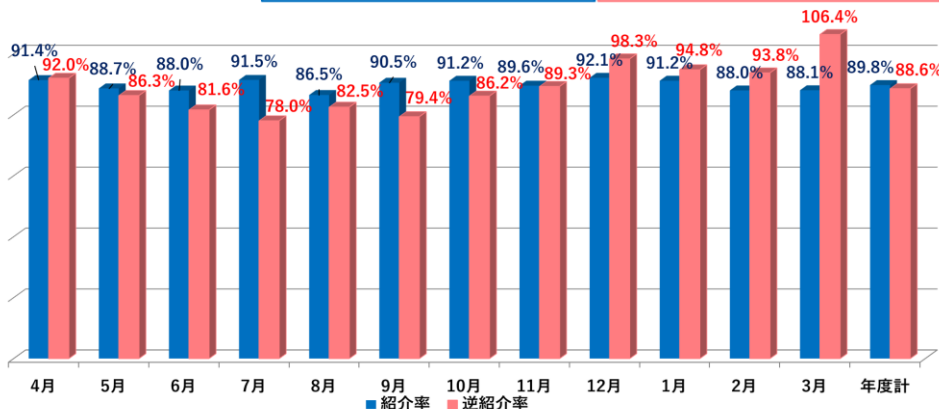


患者支援センターからのお知らせ

令和7年度 紹介率・逆紹介率

参考：令和6年4月～令和7年3月 平均紹介率 86.1%

参考：令和6年4月～令和7年3月 平均逆紹介率 84.5%



いつも当院運営にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

令和7年4月～令和8年3月は、前年度比で紹介患者数90人増、逆紹介患者数165人増でした。

引き続きよろしくお願いいたします。

地域完結型医療・連携の会 WEB ライブセミナー

令和7年度 地域完結型医療・連携の会には、延べ362名（院外173名、院内189名）の皆様にご参加いただきました。ありがとうございます。昨年度から「地域完結型医療・連携の会の録画配信」も開始しております。配信視聴をご希望の方は、患者支援センター 医療連携室へ電話（0285-36-0252）もしくはメール（メールアドレス renkei@hospital.oyama.tochigi.jp）へご連絡ください。今後も皆様により満足いただけるセミナーになるよう努めてまいります。次回「第61回」は、7/9（木）に開催します。皆様の参加をお待ちしております。

・日時 3月12日（木）19:15～

・座長 田野副院長

・症例報告者、症例

消化器内科

齋藤医師 腸重積症の1例

外科

高寺医師 多発小腸憩室の憩室穿通に対して小腸部分切除を施行した1例

小児科

田中医師 遷延・反復性の犬吠様咳嗽からクループとの鑑別を要した気管支原体肺炎の1例

・参加者 54名（院外25名、院内29名）

・日時 5月14日（木）19:15～

・座長 東副院長

・症例報告者、症例

整形外科

笹沼医師 中高年者の肩痛の外科治療

皮膚科

塚田医師 スティーヴンス・ジョンソン症候群の1例

形成外科

森下医師 形成外科対応症例の紹介

・参加者 45名（院外20名、院内25名）

ポットラック カンファレンス

偶数月、第1火曜日
19:15～ オンライン（Zoom）にて
開催しています。

6/2, 8/4, 10/6, 12/1, 2/2

	日 程	症 例 報 告
第61回	令和8年 7月 9日（木）	外科・耳鼻咽喉科・呼吸器外科
第62回	令和8年 9月 10日（木）	脳神経内科・糖尿病代謝内科・泌尿器科
第63回	令和8年 11月 12日（木）	脳神経外科・心臓血管外科・眼科
第64回	令和9年 1月 14日（木）	循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科
第65回	令和9年 3月 11日（木）	消化器内科・産婦人科・小児科

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市大字神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200（代表）

URL <https://tochigi.hospital-shinoyama.jp/>

職員採用サイト <https://recruit.soch.jp/#works>



患者支援センター（受付時間 平日 8:30～17:15） **FAX: 0285-36-0352**

医療連携室: 0285-36-0252（緊急の患者紹介・転入相談・その他地域連携に関すること）

予約専用ダイヤル: 0285-36-0254

（予約紹介患者（泌尿器科・消化器内科・耳鼻咽喉科は除く）・もの忘れ外来の受診予約、上部内視鏡・超音波の検査予約）

※ 紹介患者さんからのご予約は、火・水・木曜日の 午後 2:00～4:30 に受け付けております。

医療相談室: 0285-36-0256

（医療相談・退院調整に関すること・MSW に連絡・その他、外来患者の各種相談に関すること）

メール: renkei@hospital.oyama.tochigi.jp ※メールでも受付しております。